

人間万事塞翁が馬

にんげんばんじさいおうがうま

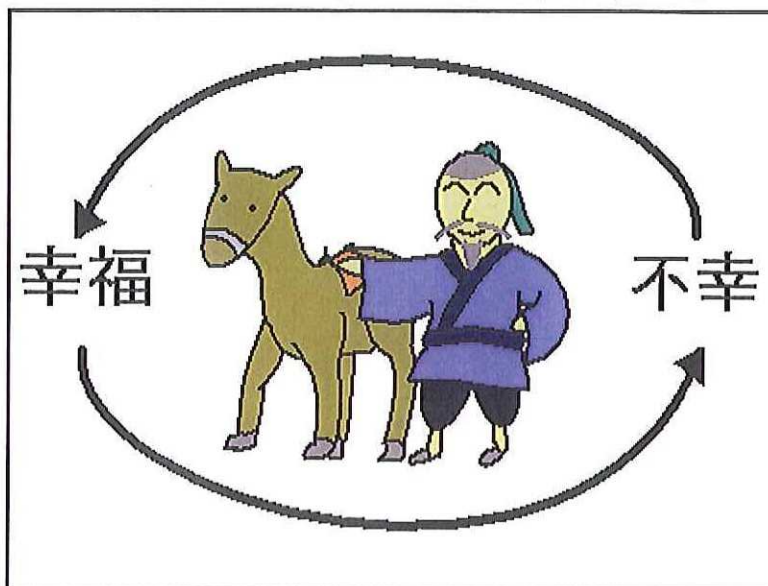
使用頻度				
★	★	★	★	★



意味 幸福や不幸は予想のしようがないことのたとえ。

例文 怪我をしても悲しむことはないさ。人間万事塞翁が馬というじゃないか。

解説



ある日、とりで(塞)^{さい}に住むおじいさん(翁)^{おう}の馬が逃げてしまったのじゃ。

「これが幸福のもとになるかもしれん。」とおじいさんは近所の人に言ったのじゃ。

その言葉どおり、逃げた馬が、名馬を連れて帰ってきたのじゃ。

「これが禍^{わざわい}のもとになるかもしれん。」とおじいさんは近所の人に言ったのじゃ。

その言葉どおり、その馬に乗ったおじいさんの息子が、落馬して骨を折ってしまったのじゃ。

「これが幸福のもとになるかもしれん。」とおじいさんは近所の人に言ったのじゃ。

その言葉どおり、その後、戦争がありましたが、おじいさんの息子は、足が悪いため戦争に行かずにすんだのじゃ。

「人間万事^{にんげんばんじ}」は、この世のすべて、「塞翁が馬^{さいおう}」は、とりでのおじいさんの馬という意味じゃ。つまり『人間万事塞翁が馬』とは、この世のすべてのことは、塞翁の馬の話のように、幸福や不幸は予想のしようがないという意味なんじゃ。短く『塞翁が馬』ともいうのじゃ。

英語 Joy and sorrow are today and tomorrow. (楽しみと悲しみは今日と明日。)

出典 ^{えなんじ}淮南子